モルタル面及びせっこうプラスター面

7章10節:合成樹脂エマルションペイント塗り(EP) 水性ビルデック(標準仕様) 公共仕様No. DNT-改修・10-1-07

使用材料一覧表

規格 一般名称		商品名	ホルムアルデヒド 放散等級	希釈剤	
1	JIS K 5663 合成樹脂エマルションシーラー	水性マイティーシーラーマルチ	F☆☆☆☆	_	
	JIS K 5663 合成樹脂エマルションペイント	水性ビルデック	F☆☆☆☆	水道水	

塗装仕様

表7.2.4 モルタル面及びせっこうプラスター面の下地調整【RB種】

※詳細は、7.2.5 モルタル面及びせっこうプラスター面の下地調整をご参照ください。

工程		塗料その他			面の処理		
		規格番号	規格番号 規格名称 種類		面の処理		
1	既存塗膜の除去		<u> </u>	ディスクサンダー、スクレーパー等により、劣 化しぜい弱な部分を除去し、活膜は残す。			
2	汚れ、付着物除去		_	素地を傷つけないようにワイヤブラシ等により、除去する。			
3	ひび割れ部の補修		_	4章[外壁改修工事]によるひび割れ部の補修は、特記による。			
4	吸込止め	JIS K 5663	JIS K 5663 合成樹脂エマルションシーラー		既存塗膜を除去した範囲に塗り付ける。		
5	穴埋め、 パテかい	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1	ひび割れ、穴等を埋めて不陸を調整する。		
٥		JIS K 5669	合成樹脂エマルションパテ	耐水形	ひい 計れい、八寸と注めて1、陸を調金する。		
6	研磨紙ずり	研磨紙P120~220			乾燥後、表面を平らに研磨する。		

表7.10.1 合成樹脂エマルションペイント塗り【A種】 ※詳細は、7.10.2 合成樹脂エマルションペイント塗りをご参照ください。

20	表7.10.1 日 成倒脂エマルションハイント空り【A性】 次詳細は、7.10.2 音放倒脂エマルションハイント空りをこ参照ください。								
	工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	塗付け量 (kg/㎡/回)	塗装間隔 (20℃)	
1		水性マイティー シーラーマルチ	クリヤー	_	無希釈	刷毛 ローラー	0.07	2時間以上 1ヶ月以内	
						スプレー			
2	中塗り (1回目) 水性ビル・	水性ビルデック	ビルデック 各色	1	5 ~ 10	刷毛 ローラー	0.10	3時間以上	
		水圧にルブラク			10~20	スプレー			
3	研磨紙ずり	研磨紙P220~240				-	清掃後		
4	中塗り (2回目) 水性ビルデック	各色	_	5 ~ 10	刷毛 ローラー	0.10	3時間以上		
4		水圧にかりがり	1 14世 	_	10~20	スプレー	0.10	3时间以工	
5	上塗り 水性ビル	水性ビルデック	k性ビルデック 各色	_	5 ~ 10	刷毛 ローラー	0.10	_	
		がほこかりがり	H H		10~20	スプレー			

注)水性ビルデックには、艶消、3分艶、5分艶、7分艶があります。

注意事項

- *上記塗付け量は、国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版に掲載されている数値です。 そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。
- * 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。